

2021年9月16日
イオンスーパーセンター株式会社

ダイバーシティ経営を推進し多様な人材が活躍できる企業へ 障がい者雇用優良事業所 岩手県知事表彰 受賞について

イオンスーパーセンター株式会社（本社：岩手県盛岡市、代表取締役社長 矢木 健太郎以下、当社）は、ダイバーシティ経営の取り組みのもと、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う「令和3年度障がい者雇用優良事業所 岩手県知事表彰」を受賞しましたので、お知らせいたします。

同機構の主催する「障がい者雇用優良事業所表彰」は、障がい者雇用において雇用管理、雇用環境等を改善・工夫し、様々な取り組みを行う事業所の中から、他の事業所のモデルとなる好事例を広く周知するものです。障がい者の雇用促進と職域の拡大及び職場定着の促進を図るとともに、障がい者雇用に関する理解の向上に資することを目的としています。

当社は、2014年より「ダイバーシティ経営」を会社方針の一つに据え、多様な人材活躍により地域の一員として社会に貢献する企業市民として、障がい者の方、育児や介護勤務者、性的マイノリティーの方など、さまざまな価値観を持つ方々にとって「働きやすい、働き甲斐のある」職場の構築に努めています。また同年4月より、仕事をする上で障がいのある方の心身の負担を軽減すると同時に、作業の効率化を目的として、テレワーク勤務制度（在宅勤務）を導入しています。

障がい者雇用の推進に向けて当社では、店舗での就業の他に、テレワークを活用した自宅などの慣れた環境での就業など、様々な働き方の提案をしています。採用時の面談では、ご本人の働き方や就業環境の希望を伺い、実習後に安心して就業が出来る体制づくりに努めています。

こうした取り組みの推進により、障がい者雇用の可能性を広げ、ひとりひとりに合った安定的な継続勤務を実現しています。当社では、現在103名（雇用率3.6%うち重度障がい者11名）の障害を持つ方が在職しております。また68名が勤続5年以上と、継続した職場定着が高く評価され、この度の受賞となりました。

当社は「この地域の皆さまとともに、より豊かな未来を創造し続けます」という基本理念のもと、人権を尊重し、国籍・人種・性別・学歴・宗教・心身に障がいのあることなどを理由とした差別を一切行わず、多様な人材が活躍できる企業を目指しております。

今後も、ダイバーシティ経営を一層加速し、多様な人材である従業員が働きやすい職場づくりを推進いたします。

以上